

# 平成21年度 事業報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

## 1 事業の成果

平成22年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(66大学67校)の6年制課程の4年次学生を対象とした第1回薬学共用試験(CBT、OSCE)を実施した。CBT、OSCEのいずれも特段の支障なく実施することができた。また次年度(平成22年度)に初めて共用試験を実施する薬系大学に向けてその準備を支援する目的で、①CBTについては自由にテストランを実施できる環境を整え、②OSCEについては全国共通認識を持つ標準模擬患者(SP)を養成すべく講習会を開催するとともに、実際の試験を想定したシミュレーションを行い問題点の割出しとその改善を図った。次年度以降も全国共通の理念に則った薬学共用試験が実施されるものと期待できる。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCE新規課題およびモニター員説明会を開催し、21年度出題対象の課題の評価ポイントなどを説明すると同時に、モニター員の役割について協議した。	平成21年4月5日	慶応義塾大学薬学部	18人	全国薬系大学の教員(約80名)	550千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点やトライアル時との相違点などの周知徹底を目的としてCBT説明会を開催した。	平成21年6月10日	慶応義塾大学薬学部	5人	全国薬系大学の教員(約170名)	120千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第1回共用試験CBT本試験に先立ち、受験学生の練習や運営体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成21年7月22日-9月19日	66薬系大学66校	100人	全国薬系大学の教員(約200名)及び薬学生(9,265名)	2,010千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCE出題課題の提示と事前審査に関する説明会を開催し、試験実施の流れや準備状況を大学間で互いに事前審査する体制を整えた。	平成21年9月5日	慶応義塾大学薬学部	23人	全国薬系大学の教員(約170名)	650千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEの実施、評点表や報告書作成、追・再試験の申請などの手順について説明会を開催した。	平成21年11月25日	慶応義塾大学薬学部	23人	全国薬系大学の教員(約170名)	650千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBTの実施とその後の諸手続き(追・再試験の申請など)の手順について説明会を開催した。	平成21年12月2日	慶応義塾大学薬学部	4人	全国薬系大学の教員(約170名)	120千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第1回共用試験(CBT、OSCE)の本試験および追・再試験を実施した。	本試験:平成21年12月2日-平成22年1月31日、 追・再試験:平成22年2月15日-3月20日	66薬系大学67校	260人	全国薬系大学の教員(約700名)及び薬学生(9,412名)	5,230千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	平成22年度に初めて共用試験を実施する大学を中心にOSCEのSP養成伝達講習会を開催した。ロールプレイを通じてSPの役割や基本姿勢、各大学でのSP養成におけるポイントを共有した。	平成21年12月13日	立命館大学薬学部	13人	全国薬系大学の教員(約60名)	25千円